

初志貫徹

JCI AMAGASAKI

2024 ANNUAL REPORT

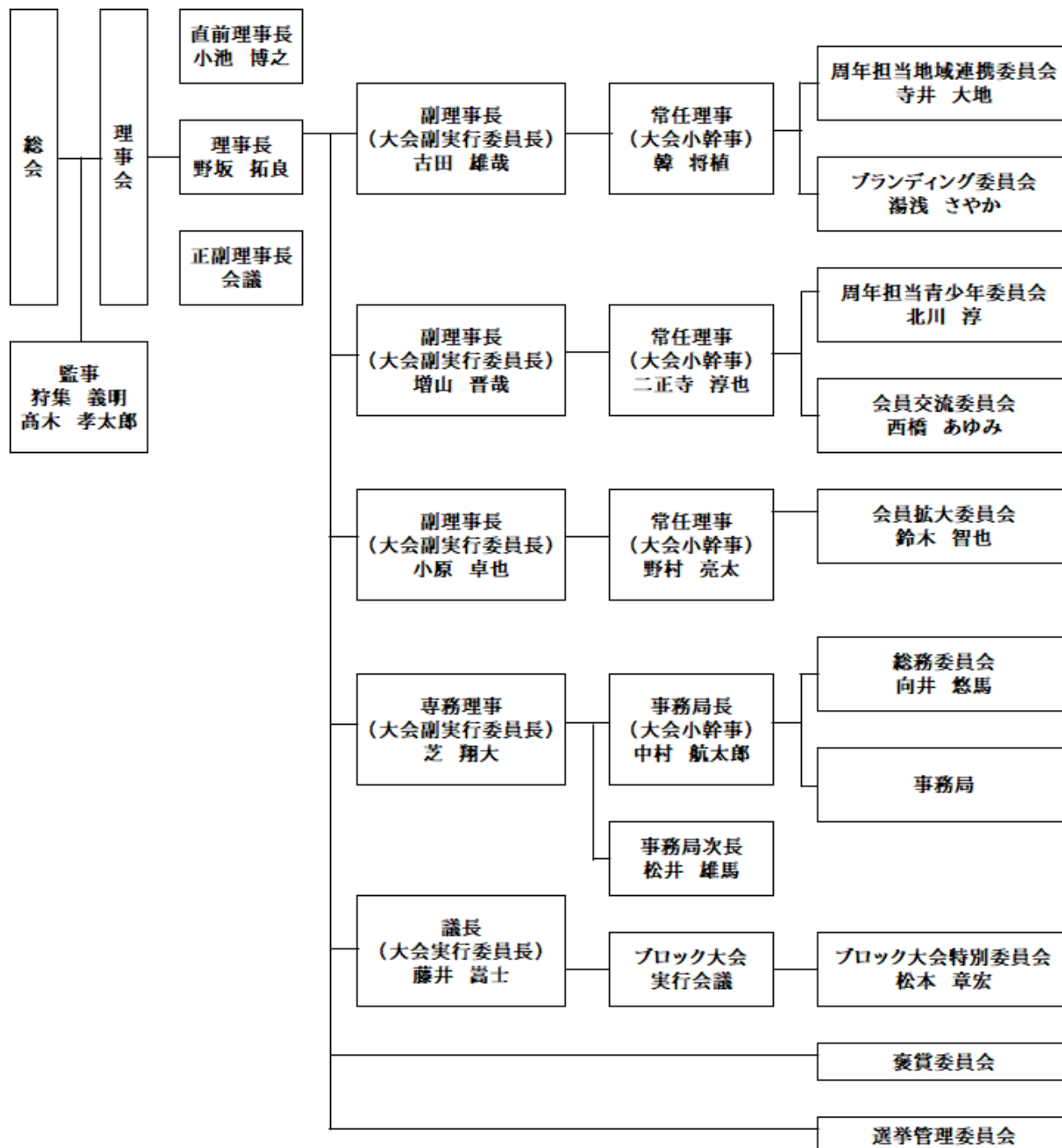
目次

CONTENTS

1. 組織図
2. 理事長報告
3. 周年事業報告
4. 役員報告
5. 委員会報告
6. 理事会報告
7. 会務報告
8. 褒賞受賞者一覧
9. 会員動向
10. 発行欄

organization chart

組織図



理事役員及び組織構成図

理事長	野坂 拓良
直前理事長	小池 博之
監事	狩集 義明、高木 孝太郎
副理事長	古田 雄哉、増山 晋哉、小原 卓也
議長	藤井 嵩士
専務理事	芝 翔大

委員会名	常任理事※	委員長 (理事)	副委員長	幹事
総務委員会	中村 航太郎 松井 雄馬	向井 悠馬	鄭 泰喆	阿児 和寿
会員拡大委員会	野村 亮太	鈴木 智也	小笹 美沙子	小池 喜之
会員交流委員会	二正寺 淳也	西橋 あゆみ	山内 佳之	加納 悠以
周年担当青少年委員会		北川 淳	中村 圭一	八木 慧斗
ブランディング委員会	韓 将植	湯浅 さやか	黒田 隼人	川端 祐也
周年担当地域連携委員会		寺井 大地	安達 大樹	淡路 裕太
ブロック大会特別委員会		松本 章宏	市川 大輔	別府 祥平

※総務委員会については事務局長・事務局次長

理事長報告

President Report



第65代理事長
Takuro Nosaka
野坂 拓良

2024年度の尼崎青年会議所の活動に対しましてご支援・ご協力をいただきました全ての皆様、また共に活動し苦楽を分かち合ったメンバーの皆様に感謝申し上げます。おかげさまをもちまして、すべての事業を無事に終えることができました。振り返ると多くの活動、様々な事業を実施した1年になったと思います。65周年記念式典・祝賀会では、多くのご来賓の皆様にご臨席を賜り、盛大に執り行うことができました。感謝を伝え、次の70周年へ向けて大きな一歩を踏み出すことができました。

65周年記念青少年事業では、地域の高校生と共にフィリピン・マニラの海外視察を行いました。道路の冠水など想定外の事態が頻発しましたが、参加してくれた高校生の価値観を広げることができたと確信しています。阪神七青年会議所合同事業では参加者の絆を深めるとともに、地域資源である運河を活用したことで尼崎の魅力も体感してもらえることができました。ASPACアンコール大会ではブース出展を行いました。近年稀に見る多くのメンバーで参加することができ、メンバーの国際意識を高めることができました。また、ブロック大会尼崎大会を主管させていただき貴重な1年となりました。台風の発生により延期開催となりましたが、当日は1万人を超える動員を記録し、尼崎から兵庫の魅力を広く発信することができました。このかけがえのない経験を通じて今後の事業に大きく活かしていきたいと思います。新たな試みとして、尼崎青年会議所のブランディングの確立を目指しました。スタイリッシュな団体としてSNSでの発信をするとともに、メンバー一人ひとりの価値を高めることにも取り組み、新しい尼崎青年会議所像の確立に近づいた1年となりました。

そして会員拡大ではたくさんのご縁をいただき、多くの方々にご入会をいただきました。新入会員の皆様が主体となって企画いただいた理事長杯は一生忘れることができない素敵な思い出です。

「初志貫徹」を掲げ、高い志と覚悟をもって臨んだ2024年。素晴らしい成果を残し、そして未来へ繋がる1年になったと確信しています。本当にありがとうございました。



理事長所信

President Policy Speech

初志貫徹

覚悟をもって臨む 1 年

あなたに覚悟はありますか？ 青年会議所に所属していると、経験したことも考えたこともない出来事にぶつかります。私自身、様々な活動を通じて経験を積んできましたが、未だに初めてのことばかりで驚かされてしまいます。覚悟をもって臨んでいるつもりですが、心が折れそうになるときもあります。40 歳までという限られた時間、単年度制という仕組み、そして多様な価値観をもったメンバーで構成される青年会議所では、このような現象は当たり前なのかもしれません。仕事がある。家庭がある。趣味の時間だって欲しい。誰もがそう考えます。時には青年会議所に費やす時間に価値を見出せないこともあるかもしれません。しかし、入会した時、新しいことに挑戦する時、誰かに憧れた時、その時々で芽生えた気持ちを思い出してみてください。あなたは、少し無理をしてでも成長したいと願ったのではないのでしょうか。

青年会議所では、成功は約束されていませんが、成長は約束されています。覚悟を決めて取り組みれば、自分が変わります。自分が変われば、すべてが変わります。その変化こそが成長であり、すべての起点はそこから始まります。志を立て、覚悟をもって 65 年目となる 1 年間に共に臨みましょう。

過去から現在、そして未来へ

華々しい 60 周年を終えた直後、世界中でパンデミックが発生し、大きな混乱が広がりました。それから数年、私たちは様々な困難に直面しましたが、創意工夫をして乗り越えてきました。そうしてたどり着いた 65 周年は、試練を乗り越えた証ともいえる重要な節目となります。過去の困難や試練は、組織の強さと柔軟性を示すものであり、70 周年への発展に向けた貴重な教訓ともなるのです。

この特別な年を迎えるにあたり、まずは支えてくれたすべての人びとに感謝を伝えましょう。そして、今日まで紡がれてきた歴史と伝統に敬意を払い、これからも社会に必要とされる尼崎青年会議所であり続ける覚悟を示しましょう。私たちが目指す「子ども達と夢を語れる『まち』尼崎」は、地域や関係諸団体の理解と協力なくして実現することはできません。これまで築いてきた様々な繋がりをより強固なものとし、次代に託すことが私たちの責務です。

子ども達の無限の可能性を信じて

社会はますます多様化・複雑化し、未来は予測困難な時代へと突入しました。

そのような未来を生き抜く子ども達に、尼崎青年会議所はどう向き合うべきでしょうか。私たちは保護者や教育機関と異なり、子ども達一人ひとりと長期的に関わることができません。しかし、私は短い瞬間であっても子ども達の人生に変化をもたらすことができると信じています。これからの予測困難な時代を生き抜くためには、豊かな価値観と自己肯定感の醸成が重要です。価値観は、子ども達が多様性を理解することで深まります。自己肯定感も、自分自身を受け入れ、自己の価値を認識することで高まります。私たちはこれまで、青少年育成に多くの力を注いできました。これからも、子ども達の可能性を引き出すことを考え、行動を起こし続けることこそが「子ども達と夢を語れる『まち』尼崎」の実現に繋がります。65 周年は、子ども達の可能性を追求する青少年事業を一つの集大成として実施し、子ども達の未来を創っていける尼崎青年会議所であり続けましょう。

ブロック大会を通じて描く、まちの未来

本年、私たちは第 57 回ブロック大会尼崎大会を主管します。この大会は、尼崎を兵庫全域へ PR できる素晴らしい機会となります。この機会を最大化するためには、尼崎と兵庫、双方の価値をしっかりと理解して臨む必要があります。また、主管側としては、特に地域益と主管益を重視し、大会を通じて尼崎と尼崎青年会議所の発展に寄与しなければなりません。

そして、大会を一過性のイベントで終わらせてはなりません。大会を構築する過程では、部分的でも再現可能性と持続可能性を追求しなければならないと考えています。それは主催側にとっても、主管側にとっても、必ず有益なこととなるはずです。兵庫ブロック協議会と協働し、互いを高め合いながら、ブロック大会そのものの価値も高めてまいりましょう。尼崎青年会議所は過去二回、災害による大会中止を経験しています。第 57 回ブロック大会尼崎大会には先輩達の想いも込め、メンバー全員で団結して必ず成功させましょう。

組織と個人のブランディング

「JC もある時代」と言われて久しく、組織のブランディングを推進することは、あらゆる観点からも重要となります。しかし、ブランドを確立するためには、長期的なプロセスと継続的な改善が必要です。本年は、組織のブランドビジョンを描くとともに、築いてきたものを精査し、再構築する 1 年としていきます。また、組織をブランディングするためには、所属する一人ひとりのセルフブランディングを高めることも重要な要素です。近年の広報活動は、着実に成果を上げています。

これに加えて、メンバー一人ひとりが主体的に尼崎青年会議所のことを発信するようになれば、その効果はさらに高まるのではないのでしょうか。これに加えて、メンバー一人ひとりが主体的に尼崎青年会議所のことを発信するようになれば、その効果はさらに高まるのではないのでしょうか。組織と個人の相乗効果を追求し、より大きな影響力を発揮できる尼崎青年会議所を目指しましょう。

交流で芽生える新たな絆

人は出会いの中で自己を発見し、成長します。時には価値観が広がるような素晴らしい出会いも見つかります。青年会議所は人財の宝庫であり、様々な出会いを提供してくれます。この一つひとつの出会いを名刺交換だけで終わるような形式的な場とさせないためには、一人ひとりのコミュニケーションスキルを一層高めることが必要です。また、場をつくる側には、交流を深めるための仕掛けや継続した関係性を築く仕組みを意識することが求められます。阪神、兵庫、近畿、日本、そして世界へと交流の輪を広げ、活動から得られる効果を最大化していきましょう。

また、新しいメンバーとの交流は、意識して大切にしていかなければなりません。活動に参加できていないメンバーに対しても同様です。私自身、入会してしばらくは馴染めないでいましたが、先輩が声をかけ続けてくれたおかげで、自分の居場所をつくることができました。青年会議所ならではの体験も活用し、誰もが参加したくなる尼崎青年会議所を目指します。

新しい仲間との出会い

40 歳までしか在籍できない青年会議所にとって、会員拡大ができなければ組織が消滅することは明らかです。私は、尼崎青年会議所の理念と運動には、絶対的に価値があると信じています。そして、尼崎青年会議所で共に活動することで、人としても、青年経済人としても、地域のリーダーとしても、成長できると確信しています。この事実が伝われば必ずや共感を生み、会員拡大につながるはずです。そこで、まずは伝えるきっかけを生み出し続けなければなりません。また、きっかけを生み出す方法を仕組化していくことも重要です。最適な方法を常に模索し、改善を図りながら、仕組の構築を目指してまいります。ただし、会員拡大は理想だけでは進まないときもあります。だからこそあらゆる可能性を信じ、愚直なまでに駆け回ること忘れてはなりません。また、会員拡大は入会してもらうことがゴールでなく、その後もサポートし続け、JAYCEE として自走することになって、ようやくゴールといえます。

これから素晴らしい人財を社会に還元するために、本年もメンバー全員で会員拡大に取り組み、100 名 LOM を目指して邁進してまいりましょう。

人財と組織のアップデート

時代に求められる組織像は、統率型組織から自走型組織へと変化しました。これに呼応するように、求められるリーダーシップ像も変化しています。尼崎青年会議所も目指す組織像を明確に定め、理想とするリーダーシップの開発に取り組みなければなりません。また、コロナ禍の収束により青年会議所における国際の機会は再び増加してきました。私たちは様々な機会の中で経験を積むことができますが、国際の機会は見識を広げる大きなチャンスです。本年は国際の機会も十分に活用し、人財育成に努めてまいります。そして、本年は運営の DX 化を推進します。特に事務局機能の DX 化は優先的に進めていかなければなりません。情報共有や作業効率が高まれば、これまでメンバーが行っていた事務の分担も望め、メンバーは本来の目的により集中することができるからです。ただし、運営は効率化だけを望めばいいわけではありません。非効率な慣習や作業の中に青年会議所の本質が隠れていることがあるからです。本質を見失わず、誰もが活躍できるバランスのとれた組織へとアップデートしていきましょう。

最後に

尼崎青年会議所の初志は「子ども達と夢を語れるまち『尼崎』」を実現することです。私たちはこの志を実現するために貴重な時間を費やして活動しています。実現に至る道は無数に存在します。まっすぐ進むことも、引き返して別の道を探すこともできます。全員が同じ道を辿る必要もありません。人にはそれぞれの役割があり、個性を発揮することが志を実現するための原動力となります。

2024 年の終わりは、全員が笑顔でいて欲しいと願っています。1 年を駆け抜けたすべての委員会も、卒業生も新入会員も、内外問わず尼崎青年会議所に関わってくれたすべての人びとも、全員が主役です。誰もが活躍でき、誰もが活躍したくなる尼崎青年会議所を目指して、1 年を描きましょう。楽しいときも苦しいときも、共に覚悟を決めて全力で駆け抜けましょう！

65 周年記念式典・祝賀会～贈 GIFT～



今年の65周年記念式典は「贈」のテーマを掲げ、新春例会、歴代理事長会議、そして記念式典へと続く一連の事業として設営を進めました。式典では、統一感のあるデザインのレストランマットや名札などを準備し、細部にわたるおもてなしを心掛けました。

また、スモークとレーザーを活用した演出により、華やかで斬新な式典となったと感じています。さらに、尼崎出身の芸人じゅんいちダビッドソン氏を招いた祝賀会は、会場の大盛り上がりを生み出しました。ステージ上での掛け合いでは笑いが絶えない時間となりました。台南JCの受け入れでは、新入会員を中心に懇親会や観光案内を行い、厚いおもてなしを提供し、非常に好評の取り組みとなりました。式典終了後は解放感とともに、より良い形にできたのではという前向きな反省が残ります。70周年では、今回の経験を活かし、より完成度の高い事業を実現し、全員が達成感を分かち合える周年行事を目指します。有難うございました。

65周年記念青少年事業～AMAGASAKI JUMP!!～



65周年記念青少年事業では、尼崎の高校生の価値観を更新し未来の選択肢を広げるために、フィリピン共和国マニラを渡航国とし異文化交流、国際交流がきる事業を行いました。渡航時は天候に恵まれず計画していたプログラムが一部実施できませんでしたが、現地にて貧困問題やストリートチルドレンの問題、ごみ処理の問題など様々な課題を視覚的に学ぶことができ、参加者全員が価値観を広げる体験ができました。事業に参加した学生は帰国後に通学している学校で在校生に向けて発表を行いました。学生は自分たちの学びを少しでも共有したい想いから熱量の高い発表を行ってくれました。ご参加いただいた学生の保護者様からも「来年も是非実施してほしい」と声をいただき、事業にご参加いただいた様々な方に満足していただけたのかと思います。最後になりますが、本事業にご協賛いただいた企業様、またあらゆる面でサポートいただきました尼崎青年会議所シニアクラブの皆様に厚く御礼申し上げます。有難うございました。

役員報告

Board member Report



直前理事長
Hiroyuki Koike
小池 博之



監事
Yoshiaki Kariatsumari
狩集 義明



監事
Kotaro Takagi
高木 孝太郎

野坂理事長の掲げる、「初志貫徹」の1年を振り返ると、65周年式典からの記念事業にて初の試みとなる国際事業、そしてブロック大会尼崎大会など、数多くの実りあるJC運動を展開できたと感じております。直前理事長として、2023年から2024年に向けてのテーマでありました。「ひとづくり」から「まちづくり」へのバトンを見事に繋いでくれた1年でありました。また若きJAYCEEの芽吹きが垣間見えた1年でもありました。これからも「子ども達と夢を語れるまち『尼崎』」を実現するという「初志」が変わることなく、時代に即した変化を恐れずに取り入れて「挑戦」し続けることのできる、誰1人取り残さない環境作りを実施し続けていただければ尼崎青年会議所の未来は明るいと感じております。結びとなりますが、40歳までの「魔法のバッチ」を活用し続け、悔いなきJCライフを楽しみ、卒業するメンバーが多く輩出されることを祈念し役員報告とさせていただきます。ありがとうございました。

尼崎青年会議所は、2024年度も地域の発展と次世代育成を目指し、多様な事業に取り組みました。65周年記念式典では、地域や関係団体への感謝を形にし、地域全体との連携を強化しました。青少年事業「AMAGASAKI JUMP!!」では、高校生を対象に国際交流の機会を提供し、多様な価値観を学び、自らの可能性を広げる場を創出しました。また、阪神7青年会議所合同事業では、SUP体験やフォトラリーを通じて地域の魅力を再発見し、他の青年会議所メンバーとの連携を深めました。地域社会の課題解決に向けた活動を通じて、我々は明るく豊かな尼崎の未来を築くため、メンバー一人ひとりが主体的に行動しています。新たな視点と情熱を持った方々の参加を心からお待ちしています。尼崎青年会議所と共に未来を創りましょう。ありがとうございました。

2024年度、監事の職を拝命して、主に例会・事業の計画予算の議案と報告決算の議案の監査、例会・理事会での講評を務めました。監査については、財務・コンプライアンス面を指摘するだけでなく、委員長への負担を軽減する会議運営を模索しました。守るべきところは厳しく、しかし、ある程度は臨機応変に対応する柔軟さも必要だと考えます。与えられた職務を任せられるかどうか、審議で賛成いただくには、取り組む姿勢が問われます。特に委員長には、会を代表して職務と予算をお預かりしているという姿勢について指摘をいたしました。また、会の運営に関しても、あらゆることが緩くなっています。緩いというより、何故そうしないといけなさを知らない、分からないと言う方が正しいかもしれません。そのような会員にも、気づきを与えられるような、例会や事業での講評を心がけてまいりました。皆様と会にとって、少しでも成長の機会となったなら幸いです。ありがとうございました。



副理事長
Shinya Masuyama
増山 晋哉



副理事長
Takuya Obara
小原 卓也



副理事長
Yuya Furuta
古田 雄哉

2024年度は、周年担当青少年委員会と会員交流委員会を担当する副理事長として職務にあたりました。周年担当青少年委員会では、65周年記念事業として、子ども達の価値観を広げて応援できる人材になるため、公募した10名の高校生とフィリピン・マニラにおいて、国際交流や異文化交流の機会を提供しました。現地では、数十年に一度の大雨に見舞われ、計画の変更を余儀なくされましたが、それも含めて、参加した高校生にはかけがえのない体験になったと思います。会員交流委員会では、阪神7青年会議所合同事業として尼崎運河におけるSUP体験事業、尼崎青年会議所内部における事業として六甲山の登山体験事業、を行いました。阪神7青年会議所のメンバー間や尼崎青年会議所のメンバー間で様々な交流が生まれ、今後のJC活動にも弾みがついたと思います。各事業にご参加・ご協力いただいた皆様に対して、この場をお借りして感謝を申し上げます。ありがとうございました。

2024年度は、会員拡大委員会担当副理事長を担わせていただきました。例会におきましては9月度例会を担当させていただきました。9月度例会では、メンバー全員が会員拡大の意識を持ち、その後青年会議所でのスケールメリットや無限の可能性を次世代へと伝えていくことを目的に、日本JCシニアクラブ会員支援委員会の木村優一先輩を講師としてお招きいたしまして、9月度例会を行いました。また、2024年度入会である喜楽会のメンバーを中心に近畿地区大会奈良大会で尼崎の名物品尼みつを使用したかき氷や尼崎の芋焼酎「尼の雫」なども販売を行うブースを出展させていただきました。そして、新入会員の最大の事業でもある理事長杯では尼谷小学校で運動会を行いました。2024年度も多種多様な多くのメンバーに入会してもらう事ができより一層強固な尼崎青年会議所になったのではないかと考えます。創始の理念でもあります、子ども達と夢を語れるまち尼崎を創るため初志貫徹の1年を送れました。皆さまありがとうございました。

昨年は副理事長として周年担当地域連携委員会、ブランディング委員会を担当させていただきました。周年担当地域連携委員会において担当させていただいた65周年記念式典においては多くの皆様にご来場いただきありがとうございました。またメンバーの皆様には準備や設営に多大なるご協力をいただきありがとうございました。行政や地域の諸団体、シニアクラブの先輩、多くの来訪JCの皆様と節目を迎えることができ、今後70周年、100周年とさらに大きな節目を迎えるにあたって組織の力がさらに強くなったものと確信しております。そして、ブランディング委員会においてはInstagramなどを使用したスタイリッシュな広報に挑戦をしました。青年会議所活動にあたって広報は難しい課題ですが、他のLOMから尼崎青年会議所の投稿についてお褒めを頂くなど、着実に成果は出ているものであると考えます。引き続き尼崎青年会議所の運動・活動にご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。1年間ありがとうございました。

役員報告

Board member Report



議長
Takashi Fujii
藤井 富士

2024年度は、ブロック大会実行会議の議長を務め、会の運営や第57回ブロック大会尼崎大会に携わらせていただきました。ブロック大会においては、行政、市民、関係諸団体の皆様や、兵庫ブロック協議会役員、兵庫県下青年会議所メンバー、尼崎青年会議所メンバーの皆様のおかげで、成功裏に終えることができました。この場を借りて、改めて感謝申し上げます。私は、この大会を通じ、尼崎市の活性化や発展のきっかけとなること、尼崎青年会議所のメンバーがこの経験を糧に今後より効果的な運動を行えるようになること、この2点を軸に取り組みました。多くの方と携わり、連携を取る中で、難しいことやうまくいかないことが多くありました。しかし、大会を終えたあとは、全てが貴重な経験であったと感じることができました。議長という機会を提供いただいた理事長をはじめとし、メンバーの皆様には感謝しかありません。この大会で得た経験や学びを、会としても個人としても、一過性のものにするのではなく、我々の理念である「こども達と夢を語る『まち』尼崎」の実現に向け、今後も運動の輪が広がられるように邁進してまいります。



専務理事
Shota Shiba
芝 翔大

2024年度は総務委員会と事務局の担当として、また、専務理事としての会の運営に携わらせていただきました。今年度の総務委員会は、4月度例会、4つの総会、手帳の作成という例年の職務に加え、ASPACでのブース出展を通して、国際の機会の提供を行いました。2024年度は創立65周年の年であり、様々な調整に動き回ったことが記憶に新しいです。そのような中でも今ある課題を未来に残さないために定款や規則の変更に着手しました。このことは、尼崎青年会議所という組織の発展に少しでも貢献できたと確信しております。我々は単年度制であり、1年で大きく何かを変えることはできないかもしれませんが、受けた役職に真摯に向き合い、何事にも果敢に挑戦することで一人のリーダーとして確実に成長し、いずれは大きく世の中に変革をもたらす人財になると確信しております。今年度得た経験を糧に次年度以降もJC活動に邁進してまいります。1年間本当にありがとうございました。



事務局長
Kotaro Nakamura
中村 航太郎

2024年度は事務局長として、皆様のご尽力と協力のもと、総務委員会と事務局の運営ができたことに心より感謝申し上げます。尼崎青年会議所の未来を見据えた重要な土台作りが行われた一年であったと確信しております。総務委員会では、例会や総会の企画・運営が円滑に進められたことはもちろん、5月と9月には定款及び諸規則の改訂という大きな改革を実現しました。この改訂は、総会の招集手続の電子化及び議決権行使の電子化、正会員の資格に関する手続といった青年会議所の根幹部分に対し、より効果的かつ効率的な運営を可能にするものであり、まさに未来志向の取り組みであったといえます。これは、青年会議所の持続的な成長に向けた一歩であり、次年度の活動に大きな影響を与えるものと期待しております。本年度の成果を次年度にしっかりと引き継ぎながら、尼崎青年会議所全体がさらに邁進できるよう今度も真剣に取り組んでまいります。ありがとうございました。



事務局次長
Yuma Matsui
松井 雄馬

2024年度、私は総務委員会の常任理事、グローバルアライアンス構築委員会の副委員長、アジア太平洋開発協議会の開発担当役員の職務を預かりました。国際青年会議所(JCI)の一員として、JCI東ティモールを支援し、仮加盟から準加盟への進展を目指し、メンバー拡大支援、ビジネス機会創出、持続可能なプロジェクト開発、起業家育成トレーニングを実施しました。また、約10ヶ国の会頭をはじめ、約100名の海外メンバーを「和の心」でおもてなしし、日本青年会議所の運動や文化、伝統、食の魅力を伝えました。アジア太平洋地域の各国と日本の良好な関係を築き、今後も日本に国際感覚が養われる機会となることを願っています。2025年度には日本青年会議所から世界会頭が排出され、さらなる成長と活躍が期待され、尼崎青年会議所のメンバーにもこの貴重な機会を手にももらいたいと願います。1年間ありがとうございました。



常任理事
Ryota Nomura
野村 亮太

会員拡大委員会の担当常任理事をお受けするにあたり、各委員会の委員長らのサポートすることを意識して取り組んできました。青年会議所は単年度制の組織といわれますが実際は、どれだけ未来のことを見据えて、視野を拡げ、行動や言動をするかしないかを体感することができる組織です。会員拡大は組織運営にあたり永続的な事柄ですが、会員拡大だけを目標に新たなメンバーを集めても、不参加者や退会者が出るようなことをしては意味がありません。昨年度の委員長経験を踏まえて、本年度も会員数を増やすことを明確にし、各委員会間の連携を意識するよう取り組みました。そうすることで、新入会員の増加のみでなく会員間の絆を強めることに加えて、事業への不参加者や退会者の削減も目的として、今後も見据えた積極的なアプローチを行うことができました。今後も尼崎青年会議所の拡大と発展に寄与していきます。1年間ありがとうございました。



常任理事
Junya Nishoji
二正寺 淳也

2024年度は常任理事として、周年担当青少年委員会と会員交流委員会の担当をさせていただきました。会員交流委員会では会員同士の交流を図るべく阪神7合同事業でSUP体験を交流事業では山登りを実施し、周年担当青少年委員会では国を飛び出し、フィリピンで研修事業を行いました。私自身担当ラインでなければ間違いなく参加しておりませんでした。貴重な経験、また今後の価値観が変わる体験をさせていただき参加してよかったと改めて感じました。23年度のロムナイトから交流事業と1年を通して事業が盛りだくさんな担当ではありましたが両委員長を始めとするスタッフのおかげで全ての担当職務が無事に終わることができました。北川委員長・西橋委員長本当にお疲れ様でした。最後になりましたが65周年・ブロック大会尼崎大会を経験したメンバーだからこそ今後の尼崎青年会議の運動がさらに市民にとってインパクトの与えられるよう邁進してまいりましょう。ありがとうございました。



常任理事
Jangsik Han
韓 将植

周年担当地域連携委員会とブランディング委員会の常任理事を受けるに当たり、2024年度は私にとって試練の年でもありました。不安の中で職務を全うしましたが、結果、各委員会の委員長たちが情熱に溢れ、素晴らしいビジョンを掲げ邁進した結果、数々の成果を成し遂げることができました。周年担当地域連携委員会は上程する議案が山ほどあり、委員会やそれ以外の日もメンバー一丸となって全てのことを妥協なく推し進め、ブランディング委員会は、Instagramを中心とした各種SNSを全国でもトップレベルのクオリティとフォロワー数で名を轟かせました。まさに尼崎青年会議所ブランディングを大いに発展させ、尼崎ここにありを発揮してくれました。本当に誇らしい委員長とスタッフ、メンバー！歴史に残る素晴らしい一年を有難うございました！

役員報告

Board member Report

総務委員会



委員長

Yuma Mukai

向井 悠馬

2024年度は総務委員会の委員長の職を拝命しました。委員長として右も左もわからない中で、この大役をお預かりし全うすることができたのは、総務委員会のスタッフ、メンバー、そしてなにより同期委員長という仲間の支えがあってこそだと感じています。そんな頼れる仲間と共に、理事会の設営から他委員会のサポート、また4度の定時・臨時総会を開催し、さらにはASPACでのブース出展も経験させて頂くなど、例年でも類を見ない経験を得る事ができ、沢山の機会を提供して頂きました。65周年という節目であり、振り返ってみると、本当に激動の一年だったと言わざるをえません。今後は今年度の経験を存分に活かし、次代を担うメンバーと共に、この青年会議所を盛り上げていけるよう邁進してまいります。結びとなりますが、今後の尼崎青年会議所がこの65周年の様に大いに盛り上がり、益々発展していきますことをご祈念しまして1年間の役員報告とさせていただきます。本当にありがとうございました。



役員報告

Board member Report

ブランディング委員会



委員長

Sayaka Yuasa

湯浅 さやか

2024年は、従来の広報委員会ではなく「ブランディング委員会」として、広報による認知度向上にとどまらず、その先にある尼崎青年会議所のブランド確立を目指す新たな一歩を踏み出した年となりました。ブランド確立という無形のものを形にしていくなかで何度も直面しましたが、その都度、スタッフや委員会メンバー、担当ラインのお二人、そして全国のJCメンバーからの多くの助言や支援を受け、無事に委員長としての責務を全うすることができました。関わってくださったすべての皆様に、心より御礼申し上げます。激動の一年を初志貫徹の強い気持ちで駆け抜け、さらなる洗練と団結力を備えたスタイリッシュなLOMメンバーの姿が、次年度以降も尼崎青年会議所のブランドとして語り継がれていくことを確信しております。結びとなりますが、経験の浅い私を委員長に選んでくださり、貴重な機会を与えていただき、本当にありがとうございました。



役員報告

Board member Report

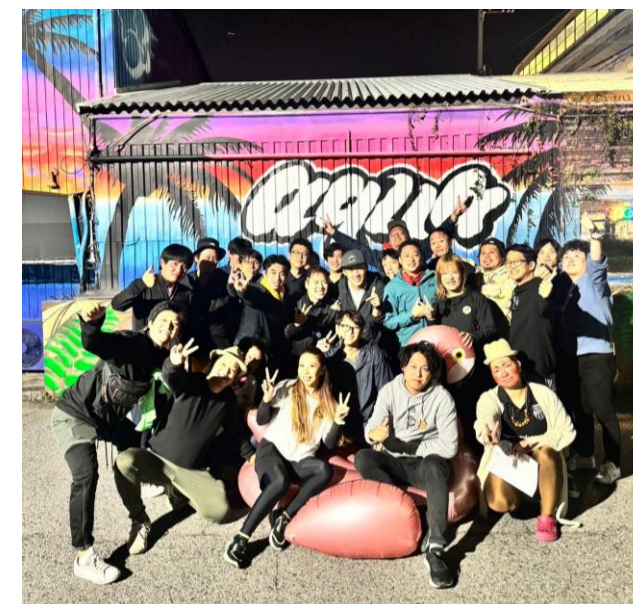
会員交流委員会



委員長

Ayumi Nishihashi
西橋 あゆみ

今年1年を振り返ると、楽しい思い出や貴重な経験が次々と蘇ってきます。私はPCに関する知識が全くない中で、委員長という道を歩み始めました。PC関連の作業については、スタッフや担当のお二人に支えていただきながら学び、私の強みである「人を巻き込む力」を活かしてメンバーとの楽しい時間を大切にしなが委員会を運営を進めてまいりました。交流委員会では、多くの方々とのふれあいがあり、そこから得た知恵や経験は新たな事業の企画につながり、実現することができました。困難な状況も皆で乗り越え、その温かなサポートが強い絆を築く助けとなり、私たちの成長につながっていることをとても実感しています。会員交流委員会としての活動は一区切りを迎えますが、これまでの皆様との交流で培った絆が、今後も組織や地域の発展に貢献できることを願っています。最後になりましたが、これまで支えてくださった皆様に心から感謝申し上げます。1年間、本当にありがとうございました。



役員報告

Board member Report

会員拡大委員会



委員長

Suzuki Tomoya

鈴木 智也

尼崎青年会議所の歴史の中で紡がれてきたものの一つに会員拡大があります。まるで駅伝のように次の走者へタスキを渡し我々の先輩方が64年間絶えることなく走り続けてこられました。そしてそのタスキを持ち、65周年という節目に2024年会員拡大委員会も最高のメンバーと共に1年間走りきることができました。会員拡大では異業種交流会やスポーツ大会、ランチ会なども積極的に行い「出会いの場」を作ることに徹し、とにかく人に会うことでまだ見ぬ未来を担う人財を求め動き続けた結果、素晴らしい新入会員を迎えることができました。そしてただ単に入会をゴールとする拡大運動ではなく、新入会員にバディをつけ、一人ひとりをフォローすることで青年会議所に自分の居場所や安心感を与えることができた結果、それぞれがそれぞれの役割の中で躍動する姿を間近で見ることができました。そしていよいよ1年間走り続けた汗まみれのこのタスキを次世代へ渡す時がやってきました。「拡大は単年度制にあらず、永続的に続けていくものである。」の言葉を胸に引き続き我々も共に走り続けます。1年間支えてくださった皆様ありがとうございました。



委員会報告

Committee Report



役員報告

Board member Report

周年担当地域連携委員会



委員長
Daichi Terai
寺井 大地

野坂理事長から突然かかってきた一本の電話が、すべての始まりでした。得意なPC作業や文章作成のおかげで、最初は順調に進みましたが、やがて苦難の連続となりました。議案が通らず臨時会に追い込まれることや、メンバーの巻き込み不足から負のサイクルに陥ることもあり、仕事やプライベートにも大きな影響が出る日々。6月にはその辛さがピークに達し、だいたいのことが思考停止になっていたように思います。6月30日の式典を終えたときの解放感は今でも忘れられません。しかし、振り返ってみれば、今年の周年担当地域連携委員会は、理事長所信を「響」かせ、歴代理事長の想いをしっかりと「継」ぎ、関係諸団体の皆様に感謝の気持ちを「贈」ることができた1年となり、私にとって大きな成長の機会となりました。そして、今年の、未来の尼崎青年会議所にとって有意義な機会となっていれば幸いです。70周年に向けて、引き続き尽力していきたいと思っています。一年間ありがとうございました！



役員報告

Board member Report

周年担当青少年委員会



委員長

Jun Kitagawa

北川 淳

本年度、周年担当青少年委員会では街と連携し、子ども達をサポートし、夢に挑戦できる環境を作るとともに、こどもの夢を応援できる人財の育成を掲げ活動してまいりました。兵庫ブロック協議会新旧合同懇親会のLOMナイト設営、3月度例会、65周年記念青少年事業、わんぱく相撲尼崎場所の設営、全ての活動を通し街の子ども達が夢を語れるための礎になったのではないかと感じております。これもひとえに对内、対外を問わずあらゆる方々のサポートがあったからこそ成しえたことができました。有難うございました。

最後に65周年という記念すべき年に担当委員長の担いを任せていただいた尼崎青年会議所に感謝申し上げます。1年間ありがとうございました。



役員報告

Board member Report

ブロック大会特別委員会



委員長

Akihiro Matsumoto

松本 章宏

ブロック大会を通じて、メンバーの成長とは何か、地域発展とは何か、持続可能とは何かといったことをひたすら自問自答する一年間でした。2月度例会では行政の取り組みを知ることで参加メンバーが地域に興味を持ち、持続的な地域への取り組みを行うための起点とする事ができました。ブロック大会では委員会の枠組みを越えて、多くのメンバーがそれぞれの個性を活かして取り組むことで、尼崎JCらしさを発揮した事業構築することができました。また、地域の方々に直接お会いすることで、JR尼崎駅前一带での開催にご理解と応援のお声がけをいただくこともできました。台風による延期となりましたが、メンバーの多大な協力により、大会内容の変更も滞りなく進み、多くの市民の方に届く広報、関係諸団体や出展者様と連携したことで、無事に大会を開催することができました。苦しい時に支えてくれた委員会メンバーに改めて感謝申し上げます。

多くのメンバーが様々な機会を得た経験や気づきは、それぞれかけがえのない財産となり、自身や組織の成長となります。各自の行動が地域の持続的な発展に繋がり、尼崎が今後もある愛され続けるまちであり続けることを願っております。1年間ありがとうございました。

委員会報告

Committee Report



1月度

1. 会員名簿の作成 修正計画並びに予算(案)承認の件
2. 2月度例会の企画運営 実施計画並びに予算(案)承認の件
3. 2023年度兵庫ブロック協議会新旧合同懇親会の参加促進業務
並びにLOMナイト設営の実施報告並びに決算(案)承認の件
4. 3月度例会の実施計画並びに予算(案)承認の件
5. 2024年度修正組織図(案)承認の件
6. 佐々木 優一(ささき ゆういち)さん 正会員承認の件
7. 鈴木 のぞみ(すずき のぞみ)さん 正会員承認の件
8. 久保 祥志(くぼ ひろし)さん 正会員承認の件
9. 平馬 秀憲(ひらうま ひでのり)さん 正会員承認の件
10. 宮野 萌(みやの めぐみ)さん 正会員承認の件
11. 前川 正樹(まえかわ まさき)さん 正会員承認の件
12. 勇 晃弘(いさみ あきひろ)さん 正会員承認の件

2月度

1. 安黒 真磨(あぐろ しんま)さん 正会員承認の件
2. 2023年度アニュアルレポート(案)承認の件
3. 2023年度補正収支予算書(案)承認の件
4. 2023年度本会計損益計算書報告(案)承認の件
5. 2024年度修正収支予算書(案)承認の件
6. 2月定時総会の開催計画(案)承認の件

3月度

1. 4月度例会の企画運営 実施計画並びに予算(案)承認の件
2. 5月度例会の企画運営 実施計画並びに予算(案)承認の件

3. 阪神7青年会議所合同事業(尼崎)の企画運営(案)承認の件

4. 阪神7青年会議所合同事業(尼崎)雨天時の企画運営(案)承認の件

5. 京都会議の参加促進業務並びにLOMナイトの設営 実施報告(案)承認の件

6. 選挙管理委員会の委員任命(案)承認の件

4月度

1. 井上 秀磨(いのうえ ひでまろ)さん 正会員承認の件
2. 岡部 勇輝(おかべ ゆうき)さん 正会員承認の件
3. 服部 寛(はっとり ひろし)さん 正会員承認の件
4. 2月度例会の企画運営 実施報告並びに決算(案)承認の件
5. 2024年度補正予算(案)承認の件
6. 定款変更(案)承認の件
7. 5月臨時総会の開催計画(案)承認の件

5月度

1. 服部 寛(はっとり ひろし)さん 正会員承認の件
2. サマーコンファレンスの参加促進業務並びにLOMナイトの設営計画(案)承認の件
3. 2月定時総会の実施報告(案)承認の件
4. ASPAC(アンコール)の参加促進業務並びにブース出展計画並びに予算(案)承認の件
5. 7月度例会の企画運営 実施並びに予算(案)承認の件
6. 65周年記念青少年事業の企画運営 実施計画並びに予算(案)承認の件

6月度理事会

1. 川浪 一晃(かわなみ かずあき)さん 正会員承認の件
2. 鷲尾 柔座(わしお じゅうざ)さん 正会員承認の件
3. 3月度例会の実施計画並びに決算(案)承認の件

7月度

1. 4月度例会の企画運営 実施計画並びに決算(案)承認の件
2. 5月度例会の実施報告並びに決算(案)承認の件
3. 9月度例会企画運営(案)実施並びに決算(案)承認の件

8月度

1. 中塚 戒(なかつか かい)さん 正会員承認の件
2. 中務 領(なかつかさ りょう)さん 正会員承認の件
3. 神代 智生(こうしろ ともき)さん正会員承認の件
4. 会員名簿の作成 実施報告並びに決算(案)承認の件
5. 阪神7青年会議所合同事業(尼崎)の企画運営並びに補正予算(案)承認の件
6. 阪神7青年会議所合同事業(尼崎)の実施報告並びに決算(案)承認の件
7. 交流事業の実施計画並びに予算(案)承認の件
8. 1月度新春例会の実施計画並びに補正予算(案)承認の件
9. 1月度新春例会企画運営実施報告並びに決算(案)承認の件

9月度理事会

1. 11月例会の企画運営実施並びに予算(案)承認の件
2. サマーコンファレンスの参加促進業務並びにLOMナイトの設営 実施報告(案)承認の件
3. 7月度例会の実施報告並びに決算(案)承認の件
4. 全国大会(福岡)の参加促進業務並びにLOMナイトの設営(案)承認の件
5. 尼崎青年会議所歴代理事長会議の実施計画並びに補正予算(案)承認の件
6. 尼崎青年会議所歴代理事長会議の実施報告並びに決算(案)承認の件
7. ASPAC(アンコール)の参加促進業務並びにブース出展報告並びに決算(案)承認の件
8. 会員名簿の作成 実施報告並びに修正決算(案)承認の件

9. 定款および会員資格規則変更(案)承認の件

10. 9月臨時総会の開催計画(案)承認の件

10月度理事会

1. 5月臨時総会実施報告(案)承認の件について

11月度

1. 田村 宜之(たむら よしゆき)さん 正会員承認の件
2. 12月臨時総会の開催計画(案)承認の件
3. 9月臨時総会の開催報告(案)承認の件
4. 65周年記念冊子の発行業務並びに決算(案)承認の件
5. 65周年記念式典の企画運営 実施計画並びに補正予算(案)承認の件
6. 65周年記念式典の企画運営 実施報告並びに決算(案)承認の件
7. 12月度例会の企画運営 修正計画並びに修正予算(案)承認の件

12月度

1. 65周年記念青少年事業の企画運営 実施計画並びに補正予算(案)承認の件
2. 65周年記念青少年事業 実施報告並びに決算(案)承認の件
3. 12月度例会の企画運営 実施計画並びに補正予算(案)承認の件
4. 12月度例会の実施報告並びに決算(案)承認の件
5. ブランディング計画の実施報告並びに決算(案)承認の件
6. 11月度例会の実施報告並びに決算(案)承認の件
7. 9月度例会企画運営実施並びに決算(案)承認の件
8. 拡大計画実施報告並びに決算(案)承認の件
9. 12月臨時総会の実施報告(案)承認の件

日	内容	場所
1月5日	新年祈願 1月度正副理事長会議 尼崎JCシニアクラブ&現役との新年互例会	貴布祢神社 尼崎JC事務局 都ホテル尼崎 3階 鳳凰の間
1月12日	スピーチセミナー	尼崎商工会議所
1月13日	第1回臨時正副理事長会議	書面
1月16日	公益社団法人岡山青年会議所 2023年度特別会員・現役会員合同新年賀詞交歓会	岡山国際ホテル 別館 瑞光の間
1月18日	1月度理事会 尼崎JCシニアクラブ 第3回役員会	尼崎商工会議所 ごん兵衛 尼崎店
1月19日	京都会議 地区ナイト	国立京都国際会館
1月20日	京都会議 LOMナイト・ブロックナイト	
1月21日	京都会議 新年式典	
1月26日	1月度新春例会～初志貫徹～	都ホテル尼崎 鳳凰の間
1月29日	2月度正副理事長会議	尼崎JC事務局
2月3日	JCゲーム トレトレ	中小企業センター
2月4日	JCゲーム トレトレ	中小企業センター
2月4日	監事監査	尼崎JC事務局
2月8日	2月度理事会	尼崎商工会議所
2月10日	2024年度第1回会員会議所会議 2024年度第1回合同委員長会議	神戸ポートピアホテル
2月16日	2月度例会	小田北生涯学習プラザ
2月17日	シニアクラブ 定時総会及び講演会	都ホテル尼崎
2月18日	第2回臨時正副理事長会議	WEB会議
2月21日	第1回臨時理事会	WEB会議
2月26日	3月度正副理事長会議	WEB会議
2月28日	2月度定時総会 尼崎商工会議所	
3月1日	兵庫県議会JC議員連盟と兵庫ブロック内JCとの交流大会	神戸メリケンパークオリエンタルホテル 4階<海王の間>
3月4日	第2回臨時理事会	WEB会議
3月5日	異業種交流会	都ホテル尼崎
3月13日	ブロック大会PR(淡路JC)	洲本市文化体育館
3月14日	3月度理事会	尼崎商工会議所
3月24日	65周年記念植樹並びに歴代理事長会議	橘公園／ホテルヴィスキオ
3月25日	ブロック大会PR(神戸JC)	メリケンパークオリエンタルホテル
3月29日	4月度政正副理事長会議	WEB会議

日	内容	場所
4月9日	ブロック大会PR(明石JC)	西明石ホテルキャッスルプラザ
4月10日	第3回臨時正副理事長会議	書面
4月11日	4月度理事会	尼崎商工会議所
4月13日	LOM役員懇談会	ホテルヴィスキオ
4月15日	ブロック大会PR(加古川JC)	加古川商工会議所会館4階
4月19日	4月度例会～理想のリーダーシップについて考えよう～	尼崎商工会議所
4月20日	ブロック大会PR(丹波・丹波篠山・三田・西脇) 大懇親会 レジェンドの会	ユニットピアささやま 都ホテル尼崎
4月22日	第3回臨時理事会	WEB会議
4月26日	5月度正副理事長会議	WEB会議
4月27日	第3回会員会議所会議	西脇商工会議所
5月1日	5月度臨時総会	尼崎商工会議所
5月10日	5月度理事会	尼崎商工会議所
5月11日	ブロック大会PR(三木JC) ブロック大会PR(南但・美方・香住・豊岡)	三木市立市民活動センター 道の駅 丹波楽座
5月12日	ブロック大会PR(西宮) ブロック大会PR(高砂)	
5月17日	5月度例会～Let's Positive Change～ ブロック大会PR(尼崎)	尼崎商工会議所
5月19日	ブロック大会PR(芦屋)	
5月21日	尼崎JCシニアクラブ 第1回役員会	
5月27日	ブロック大会PR(姫路・龍野)	
5月31日	6月度正副理事長会議	WEB会議
6月1日	阪神7青年会議所合同事業 目指せ!Super SUPER! ～尼崎でいい波乗っちゃって!～	北堀キャナルベース
6月2日	一般社団法人三木青年会議所 65周年記念式典・記念祝賀会	ネスタリゾート神戸 ネスタホール
6月6日～9日	ASPACアンコール大会	カンボジア王国 シェムリアップ
6月8日	ブロック大会PR(伊丹)	伊丹商工プラザ
6月10日	第4回 臨時正副理事長会議	書面
6月11日	第1回 理事選挙当選者会議	尼崎JC事務局
6月13日	leader's academy+ 「BE AMBITIOUS～魅力ある次世代リーダーへ～」	尼崎商工会議所
6月14日	6月度 理事会	尼崎商工会議所
6月15日	一般社団法人明石青年会議所 65周年記念式典並びに記念祝賀会	ホテルキャッスルプラザ 3階 祥福寿
6月18日	理事長候補者立候補受付・理事長候補者立候補者説明会	尼崎JC事務局
6月20日	第2回 理事役員被選任者会議(理事長候補者選挙)	尼崎商工会議所
6月23日	第4回会員会議所会議	ホテルヴィスキオ尼崎

日	内容	場所
6月24日	第3回 異業種交流会	ROUND1JR尼崎駅前店
6月27日	7月度正副理事長会議	WEB会議
6月30日	一般社団法人尼崎青年会議所 65周年式典・祝賀会	都ホテル尼崎 3階 鳳凰の間
7月2日	合同常任理事会 松本ビル新館2F	
7月5日	近畿地区大会 決起集会	ホテル日航奈良4階 飛天の間
7月5日	令和6年度尼崎市民運動推進委員会 総会	中央北生涯学習プラザ 小ホール
7月11日	7月度 理事会	尼崎商工会議所
7月12日	7月度例会 サマーディ〜心をひとつに〜	尼崎市中小企業センター 1階 大ホール
7月14日	近畿地区協議会 第2回会員会議所会議	なら100年会館
7月14日～15日	2024年度近畿地区大会 奈良大会	
7月18日	VFセミナー	小田北生涯学習プラザ
7月19日	2024年度 サマーコンファレンス地区ナイト	グランドオリエンタルみなとみらい 6階 ハーバールーム
7月20日～21日	2024年度 サマーコンファレンス	パシフィコ横浜
7月23日～26日	65周年記念青少年事業 ～AMAGASAKI JUMP!!～	フィリピン共和国 マニラ
7月27日	第4回 会員会議所会議	道の駅 丹波楽座
7月31日	レジェンド会 『芦屋花火クルーズ』	中央堤旅客ターミナル2階
8月1日	8月度正副理事長会議	WEB会議
8月1日～6日	理事長候補者面談	尼崎JC事務局
8月3日	ブロック大会 決起集会	ごん兵衛 尼崎店
8月8日	兵庫ブロック協議会 アカデミー事業 『HYOUGO YOUNG FES 』	兵庫県立武道館
8月14日	8月度理事会	尼崎青年会議所
8月14日	第57回 兵庫ブロック大会 尼崎大会 (台風のため、中止)	
8月24日	第10回 JCカップU-11少年少女サッカー大会 近畿地区予選大会	SORA RINKU 合宿所
8月25日	JC野球	伊丹スポーツセンター
9月2日	9月度正副理事長会議	WEB会議
9月3日	OB・現役合同ゴルフコンペ	西宮高原ゴルフ倶楽部
9月12日	9月度理事会	尼崎商工会議所
9月21日	日本JC 経済グループ価値デザイン委員会 第7回全体会議	尼崎商工会議所
9月24日	力のつどい	尼崎商工会議所
9月27日	第1回臨時会員会議所会議	ZOOM開催
9月28日	10月度正副理事長会議	ZOOM開催
9月28日	尼崎商工会議所 青年部 設立30周年記念式典	あましんアルカイックホール・オクト
9月30日	9月度臨時総会	尼崎商工会議所
9月30日～10月2日	世界会議 桃園大会	桃園コンベンション&エキシビジョンセンター

日	内容	場所
10月3日	第5回臨時正副理事長会議	書面
10月4日～6日	第73回全国大会福岡大会	
10/5	LOMナイト	マリンメッセ福岡
10月2日	一般社団法人尼崎青年会議所 2025年度 委員会スタッフセミナー「JCI Impact」	松本ビル2階
10月3日	第5回 臨時正副理事長会議	書面
10月10日	10月度理事会	尼崎商工会議所
10月11日	阪神7青年会議所合同例会	ホテルヒューイト甲子園 鳴尾の間
10月12日	令和6年度 ラブリバー庄下川作戦	あましんアルカイックホール西側
10月14日	衆議院議員総選挙兵庫8区 立候補予定者 公開討論会	尼崎市中小企業センター 1階 大ホール
10月14日	第57回 兵庫ブロック大会 尼崎大会	ホテルヴィスキオ尼崎etc
10月20日	交流事業 summit link〜ロックに初登頂〜	芦屋ロックガーデン
10月23日	尼崎JCシニアクラブ 第2回役員会	味楽園 本店
10月26日	兵庫ブロック協議会 兵庫県知事 公開討論会	兵庫県立中央労働センター 大ホール
10月27日	第6回 会員会議所会議	猪名川町立中央公民館
10月28日	第6回 臨時正副理事長会議	書面
10月30日	第4回臨時理事会	ZOOM開催
11月5日	11月度正副理事長会議	ZOOM開催
11月8日	2024年度11月度スピーチ例会〜次代へ魅せたい姿〜	尼崎商工会議所
11月14日	11月度理事会	尼崎商工会議所
11月16日	2024年度喜楽会「ENJOY」 〜輝け！今日の主役は私たちだ〜	竹谷小学校
11月20日	第6回臨時正副理事長会議	ZOOM開催
11月24日	2024年度 第7回会員会議所会議	神戸ポートピアホテル
11月25日	臨時監事監査	ZOOM開催
12月1日	12月度納会例会 初志貫徹〜Another Starting Line 未来へ〜	都ホテル尼崎
12月3日	12月臨時総会	
12月8日	異業種交流会	ごん兵衛 尼崎店
12月10日	12月度正副理事長会議	ZOOM開催
12月15日	監事候補者監査	尼崎JC事務局
12月23日	12月度最終理事会	不死王閣
12月29日	近畿地区協議会 2024年度 thanks近畿	ホテルアゴーラ 大阪守口 2F
	くさりの会	紀久鮎

最優秀新人賞.....周年担当地域連携委員会 委員 横山 明日美 君
最優秀出向者賞.....周年担当青少年委員会 委員 中村 圭一 君
最優秀事業賞.....会員拡大委員会「会員拡大事業」
優秀JAYCEE賞.....ブランディング委員会 副委員長 黒田 隼人 君
会員交流委員会 副委員長 山内 佳之 君
会員拡大委員会 幹事 小池 喜之 君
最優秀JAYCEE賞 会員交流委員会 委員 中村 綾矢 君
褒賞委員会特別賞 会員拡大委員会 副委員長 小笹 美沙子 君
周年担当青少年委員会 委員 山崎 藍子君
理事長特別賞.....周年担当青少年委員会
65 周年記念青少年事業～AMAGASAKI JUMP!!
最優秀委員会賞.....会員交流委員会

例会皆出席者賞

- 1 年:植田 哲和、加納 悠以、小池 喜之、鈴木 智也、中村 綾矢、西橋 あゆみ、
山内 佳之、山崎 藍子、横山 明日美、
- 2 年:黒田 隼人、野村 亮太、松本 章宏
- 3 年:小原 卓也、韓 将植、芝 翔大、中村 航太郎、藤井 嵩士、松井 雄馬
- 6 年:高木 孝太郎
- 7 年:野坂 拓良
- 8 年:二正寺 淳也

期首会員数

2024年1月1日時点 会員数65名

新入会員一覽

・2024年 入会者 21

(1月) 勇 晃弘、久保 祥志、佐々木 優一、鈴木 のぞみ、平馬 秀憲、
前川 正樹、宮野 萌

(2月)安黒 真磨

(3月)北山 欣輝、堀田 真司、宮本 康広、山中 裕貴

(4月)井上 秀磨、岡部 勇輝

(5月)服部 寛

(6月)川浪 一晃、鷺尾 柔座

(8月)神代 智生、中塚 戒、中務 領

(11月)田村 宜之

卒業会員一覧

・2024年度 卒業生 13名

足立 和宏、淡路 祐太、植田 哲和、小笹 美沙子、小西 基皓、
佐野 晃弘、徳田 慶介、西田 兼治、増山 晋哉、松井 勇樹、
松本 章宏、山浦 秀明、山崎 藍子

・2023年度 直前理事長 1名

小池 博之

発行欄

発行人 野坂 拓良 編集人 向井 悠馬

発行所 一般社団法人尼崎青年会議所 総務委員会

住 所 〒660-0881 尼崎市昭和通3丁目96番地 尼崎商工会議所ビル5F

TEL:06-6413-0136 FAX:06-6413-0720

◆専務理事/芝 翔大 ◆事務局長/中村 航太郎 ◆事務局次長/松井 雄馬

◆委員長/向井 悠馬 ◆副委員長/鄭 泰喆 ◆幹事/阿児 和寿

◆委員/足立 和宏、小西 基皓、福永 佐弥、湊 洋介、李 恵美

2024 ANNUAL REPORT



Junior Chamber International Amagasaki

一般社団法人 尼崎青年会議所